

# 平成22年度 学校評価シート

益田市立美都中学校

目標	具体的な取り組み	評価のめやす	学校教職員の評価				学校関係者評価	
			評価	%	評価の分析	次年度の改善策	評価	%
①学びあい学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業形態の導入</li> <li>全員年1回の授業公開実施</li> <li>頑張っている生徒への評価の工夫</li> <li>学力調査の分析</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分からないときに友達に「教えて」と、ほとんどの生徒が聞くことができる。</li> </ul>	A	0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>全校体制で推進することができた。生徒の90.2%が聞くことができたと回答し、1学期の調査よりも増えている。</li> <li>年度当初の計画に従い、全職員が公開授業を行い、授業研究会を行うことができた。</li> <li>概ね2ヶ月ごとに頑張っている生徒を掲示したり、放送したりして全校生徒に知らせることができた。</li> <li>職員研修で、各教科・各学年の傾向等について共通理解をはかることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンプ課題の設定など、各教科でさらに研究を進める。</li> <li>頑張っている生徒の記入など、学び合い学習を進める上での基盤づくりを継続して取り組む。</li> </ul>	A	100.0
			B	90.9			B	0.0
			C	9.1			C	0.0
			D	0.0			D	0.0
②基礎・基本の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>土曜補習の実施(年10回)</li> <li>定期テスト前の自主学習時間の工夫</li> <li>自学ノートの導入と取り組み</li> <li>家庭学習の手引の作成</li> <li>基礎テストの実施と事前・事後指導の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が1日1ページのペースで自学ノートに取り組む。</li> <li>基礎テストでほとんどの生徒が基準点以上を獲得する。(国語:80点、数学:80点、英語:80点)</li> </ul>	A	0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>自学ノートは1年生だけが90.5%と目標を達成した。学年が上がるにつれてできなくなる。</li> <li>基礎テストは教科によって難易度に差があり、数学はデータをとった終盤が難しく、平均点が下がった。最終回基準点に達した生徒は、国語90.5%、数学55.6%、英語77.8%であった。</li> <li>基礎テストは、満点をとろうとする生徒とそうでなくあきらめる生徒に二極化している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1年生から、家庭学習やノートのとり方など学習法の基礎について、年度当初などに集中指導を行う。</li> <li>土曜補習や基礎テストが有効に機能するように改善を図る。</li> </ul>	A	80.0
			B	9.1			B	20.0
			C	90.9			C	0.0
			D	0.0			D	0.0
①清掃指導の充実と活動の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>清掃評価シートの取り組みと工夫</li> <li>セルフ掃除の継続と工夫</li> <li>反省会の時間確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が、掃除の自己評価がAになるように取り組む。</li> </ul>	A	16.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価がAになるよう取り組めたと回答した生徒は95.1%と高い評価であった。</li> <li>学期ごとに見直し、評価シートの工夫(評価方法、評価基準)、反省時間の確保等、改善を図ることができた。</li> <li>生徒会美化委員会によりセルフ掃除の啓発に取り組ませることができた。</li> <li>学校の時程に5分間の評価、反省時間を確保することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価シートを1ヶ月版にしたり、評価方法を工夫したりするなど、さらに改善を図る。</li> <li>セルフ掃除を生徒自身が工夫するよう指導をはかる。</li> </ul>	A	40.0
			B	83.3			B	60.0
			C	0.0			C	0.0
			D	0.0			D	0.0
②時と場に応じた服装の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒会生活委員会による身だしなみ点検の実施(毎週)</li> <li>季節に合わせた正しい服装を提示する。</li> <li>全校集会に服装を整えて参加させる。(学年別入退場)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が、身だしなみのことで教職員・生徒会から注意を受けない。</li> </ul>	A	0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>身だしなみを整えることができたと回答した生徒は93.4%と、高い自己評価であった。</li> <li>身だしなみ点検や正しい服装ポスター掲示、全校集会時に服装を整えるなど見直しを行ったが、管理的な面での対策しかとれず、ほとんど機能しなかった。</li> <li>生徒会で「防寒着をみんなで着てこよう」という提案が出るなど、生徒の意識は変わりつつある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の服装指導で、共通理解を図りながら服装を整えさせる。</li> <li>生徒に服装の決まりを考えさせ、全体で話し合わせるなど、意識面での指導を工夫する。</li> </ul>	A	80.0
			B	83.3			B	20.0
			C	16.7			C	0.0
			D	0.0			D	0.0
③健全な生活リズム(早寝、早起き、朝ごはん)の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズム調査の実施と分析</li> <li>電子メディアと上手につきあう標語のぼり旗づくりの取り組み</li> <li>体験活動(朝食体験、My茶碗づくり等)の実施</li> <li>各家庭における生活スローガンへの取り組み</li> <li>模範的な生活リズムの提示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が11時までには就寝し、朝食を必ずとる。</li> </ul>	A	18.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>達成できたと回答した生徒は90.2%であったが、就寝時間と朝食摂取を同時に質問したため、実態把握が不明確であった。</li> <li>生活点検、各家庭でのチャレンジシートの取り組みは計画通り実施できたが、個人・家庭で取り組みに差があった。</li> <li>電子メディア標語とのつきあい方ののぼり旗・横断幕づくり、体験活動、生活リズム掲示、PTA劇等、啓発活動を推進することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き生徒・家庭への動機づけを工夫して取り組んでいく。</li> <li>担当者だけでなく、学校全体の取り組みとして職員が意識を高める。</li> <li>生活リズムと学習効果の相関関係を明らかにして提示する。</li> </ul>	A	75.0
			B	63.6			B	25.0
			C	18.2			C	0.0
			D	0.0			D	0.0
④食育指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「弁当の日」の実施(年10回)</li> <li>生徒会の自主活動による給食時のマナー向上への取り組み</li> <li>給食机配置の工夫</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほとんどの生徒が、弁当の日に家族の手伝いなしに弁当が準備できる。</li> <li>ほとんどの生徒が、給食時のマナーが不快ではないと思う。</li> </ul>	A	0.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>弁当を自分で作れたと回答した生徒は77%であった。今年度の目標は達成されたと言える。</li> <li>給食時快適であると回答した生徒は96.7%であった。ほとんどの生徒がおだやかな表情で食事し、安心してお代わりを行い、残飯も大幅に減少した。</li> <li>生徒会保健委員会が、給食憲法の周知、アンケート、集会での発表を行うなど、マナー向上啓発に取り組んだ。</li> <li>給食機の配置を学年単位にしたことは効果的であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>給食のマナーについて、生徒会で月目標をつくるなど、生徒の自主的な活動を推進させる。</li> <li>食事マナーを学習する時間を設定する。</li> <li>弁当の日は自由度を広げながら、継続して取り組む。</li> <li>弁当の日は継続して取り組む。</li> </ul>	A	80.0
			B	91.7			B	20.0
			C	8.3			C	0.0
			D	0.0			D	0.0

自己評価…A:達成できた B:概ね達成できた C:あまり達成できていない D:達成できていない。

学校関係者評価…A:適当である。B:概ね適当である。C:あまり適当でない。D:適当でない。